

2025年3月

3月18日(火)、臨床研修管理委員会にて2年次の修了判定が認められ、委員会終了後に修了証授与式を行いました。今回からホルダーに入れた修了証を手渡しすることで、研修医の気持ちもさらに引き締め、授与式も一層華やかになったように感じられました。

2年間の初期臨床研修を終えた岸浪研修医と今研修医は、他施設からも高く評価されており、今後、岸浪研修医は北大へ、今研修医は当院の専攻医として、診療はもちろんのこと、後輩のチューター指導医としてさらなる活躍が期待されます。2年間の初期臨床研修、本当にお疲れさまでした。

3月26日(水)CPC(臨床病理検討会)を開催し、2年次研修医2名と1年次研修医1名が演者として、タイトルは「進行胃癌の化学療法後に、意識障害、項部硬直を来して死亡した一例」でした。研修医の発表が終わった後は、北大病理の先生がたくさんの写真を提示しながら、わかりやすく剖検診断を解説してくださいました。

